

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さんくすホープ2nd【放課後等デイサービス】				公表日	2026年 3月 23日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1		クールダウンスペースが不確定です。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	2	他事業所や組織全体でフォローしてくれま す。	体調不良等で当日職員が休みになった場合、 当事業所だけでの対応が難しい場合がありま す。児発利用日と放デイ長期休みが重なる場 合不足とします。 配置は適切だが多機能型及び不測の事態が起 きた際に他事業所や組織全体でフォローをし てくれていますが、職員連携の部分で困難さ を感じます。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	0				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	0	窓を開けて換気がすぐできます。ガードが付 いている為全開にはならず安全です。 運動する場所と学習する場所がわかれています。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		3	1	空間を区切る形でクールダウンスペースを設 けています。	クールダウンスペースが不確定です。 パーティションにて簡易的なクールダウンスペースを設 けているが、スペースがあまりない為、児童の様子や対 象児から伝えて貰い設置する形となる。スペースの確保 や環境整備をしていきたい。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	朝礼と終礼の際に話し合いをしています。 また会議など。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		2025年11月～開所となる為、今年度からの取 組となります。今回が開所して最初の評価機 会となるので、この結果を踏まえて業務改善 につなげていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		2025年11月～開所となる為、今年度からの取 組になります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	月に一度社内研修を実施しています。	外部研修をもう少し受けられると良いと思 います。多機能型の為、業務の兼ね合いで外部 への研修参加ができずにいます。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	日々の活動は担当制だが、行事や長期休暇は職員間で話し合い決めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	マンネリ化しないように最新の物を取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝礼にて児童の様子を周知している。朝礼が難しい日は各自申し送りを確認しています。朝礼の際に話し合いをしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	終礼の際に話し合いをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1		定期的に児童の様子を共有し会議等を行っておりますが、個別支援計画のモニタリング児童がまだいません。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		よくわかりません。今まで卒業児はいなかったが今年度末に情報提供する予定となっております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		来年度より土曜開所となります。企画をしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		当日の業務との兼ね合いにより参加が難しくなりました。今年度は参加を断念しております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	障りの送迎の際に伝え、ケア記録でも情報を共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		心理面談やその他面談の中で情報共有や助言を行っています。情報提供や心理士面談を行っています。ペアトレ等も検討していきたいと思っております。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	3		セカンドが開所してからまだ日が浅く、開催ができていません。今後企画していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		インスタグラムやHP等、外部への発信はできていない為活用していきたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		外部委託のイベントはありましたが、地域住民を招いていないと思います。夏祭りなどのイベントを開き地域の方も招待すると良いと思います。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
さんくすホープ2nd【児童発達支援】		2026年 3月 23日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	他事業所や組織全体でフォローをしてください。	デイサービス利用児童の下校が早い場合や利用者の発熱等不測の事態があった際に対応が難しくなることが考えられます。今後放デイ長期休みと重なれば不足と見ます。配置は適切だが多機能型及び不測の事態が起きた際に他事業所や組織全体でフォローをしてはいますが、職員連携の部分で困難さを感じます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2		2階に上がる際の階段が危ないため、手すり等をつけています。LDKのキッチン部分との仕切りが必要と思われます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	朝礼と終礼の際に話し合いをしています。また会議など	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		2026.1～始動している為今年度からの取組になります。今回が開所して最初の評価機会となるので、この結果を踏まえて業務改善につなげていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	会議で話し合いをしています。	児童が終わりすぐ放デイの為十分な時間がとれていません。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		2026.1～始動している為今年度からの取組になります。よくわかりません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	月に一度社内研修を実施しています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		マンネリ化しないように最新の物を取り入れています。日々の活動は担当制。行事やイベントは職員で話し合いを行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	朝礼にて利用の様子を周知しています。朝礼が難しい日は各自申し送りを確認しています。	朝礼が開所時間との兼ね合いで不十分です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	朝礼の際に話し合いをしています。	朝礼が開所時間との兼ね合いで不十分です。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	朝礼の際に話し合いをしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1		まだ実施するまでに至りません。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		まだ開所したばかりでわかりません。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		まだ開所したばかりでわかりません。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		まだ開所したばかりでわかりません。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2		対象児童がいません。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3		まだ開所したばかりでわかりません。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		企画していきたいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	隔りの送迎やケア記録で情報共有しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		情報提供や心理士面談を行っています。ペアトレ等も検討していきたいと思っています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		開所から日が浅く、開催できていません。今後行う予定です。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1		外部への発信は出来ていない為行っていきません。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		イベントなどを開き地域の方との交流を行います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1		まだヒヤリハットが発生していません。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		対象児がいません。	